

# 31万人元気都市宣言!

[2024-2028]

本  
森  
と  
も  
も  
ひ  
ろ

未来に続く  
「まちづくり」を推し進める



## ごあいさつ

少子高齢化、大都市への一極集中が進み、人口減少という大きな課題を抱える地方都市。我々は、極めて厳しい状況に直面しています。

その状況を甘んじて受け入れ地域の活力を失い続けるのか、新たな成長を追い求め、未来を切り拓く挑戦を続けるのか。

私には、市政のトップとして、20年後、30年後も四日市が『東海エリアを牽引する元気都市』であり続ける為の基盤を創り上げる責任があります。

地域産業が活況な今、四日市は、新たな発展への可能性を有し、思い切ったまちづくりに取り組める環境にあります。

このチャンスを確実に形に変え、都市機能の向上を図り、当地域の中核都市として更なる成長へとつなげていかなければなりません。

そして、幅広い施策を積極的に展開し、市民の皆様の幸福度を上げ、持続可能なまちづくりを進めていきます。

森 智広



## 中心市街地再開発プロジェクト

本市の玄関口となる近鉄四日市駅、JR四日市駅、そして中央通りを中心に、回遊性の向上、交通結節点、文化施設、教育機関の整備等を図り、東海エリアを代表する商業・文化、教育エリアを創り上げます。

### ■「バスタ四日市」の開業

三重県最大のバスターミナル「バスタ四日市」の早期開業に向け、引き続き、国への協力、働き掛けを行い、三重県における一大交通結節拠点の整備を図ります。

### ■新図書館の早期整備

新図書館の整備を速やかに進め、子育て、生涯学習、社会教育の機能を有し、新たな発見、出会いや価値が生まれる空間を創っていきます。

### ■円形デッキ等の整備

近鉄四日市駅東口の「円形デッキ」、国道1号線～JR四日市駅間の中央通り公園の整備等を進め、歩いて楽しめる空間を作り、まちの賑わい創出につなげます。

### ■JR四日市駅前への大学設置

本市の産業、ものづくりを支える人材の育成を目指し、JR四日市駅前への大学設置を進め、若者の就学の機会の創出、中心市街地の活性化にもつなげていきます。



## 子育て・教育

市長就任以降、最重点テーマとして『子育て・教育』の充実を掲げて各施策に取り組んでまいりました。18歳の年度末までの全ての子どもに対する医療費の窓口負担無料化、食缶方式による中学校給食等を実現しました。次の4年間においても、本市の未来を担う子ども達に光を当てる『子育て・教育』分野に力を入れて取り組みます。

### ■全小中学校の体育館・武道場への空調整備

年々厳しくなる夏の猛暑等に対応する為、全ての公立小中学校の体育館・武道場に空調整備を行い、1年を通して、児童生徒の学校生活を保障します。

### ■保育所等の待機児童ゼロの達成

令和6年度より保育所等の育休退園の廃止を実現した一方で、保育需要の高まりから、令和元年から継続していた年度当初の待機児童ゼロが途切れました。この状況を打開する為に、不足する保育士確保に努め、早急に待機児童ゼロを実現します。

### ■不登校児童生徒に対するきめ細やかなサポートを実施

全公立中学校に「ふれあい教室」を設置し、小学校にも広げていきます。また、引き続き、スクールソーシャルワーカー等の積極配置を行っていきます。

### ■こどもの居場所づくりへの支援

誰一人取り残さず、全てのこども・若者の健やかな成長や幸せにつながる「こどもまんなか」の居場所づくりの支援を積極的に実施します。





## 産業振興、 都市インフラ整備

本市には多様な産業が集積し、これまで全国有数の産業都市として発展を遂げてきました。本市が、今後も持続可能な発展を遂げていくためには産業振興は極めて重要な施策となります。

### ■北勢バイパス等の広域幹線道路の整備促進、渋滞対策

「北勢バイパス」の国道1号線までの早期整備に向け、国への協力・働きかけをはじめ、市内の渋滞対策に積極的に取り組んでいきます。

### ■新たな地域特産品の産出

地域農業を持続可能にするための取り組みとして、ふれあい牧場を有効に活用するなどし、地元農作物を活用した新たな特産品づくりを推進します。

### ■新たな産業用地を確保し、 更なる投資の創出

不足している産業用地。令和6年度内に開通予定である北勢バイパス沿線での新たな産業用地確保に取り組み、新規産業の誘致、更なる設備投資につなげます。

### ■都市機能を向上させる「港湾計画」の策定

本市の貴重な財産である四日市港の未来を創る、新エネルギー拠点の整備、みなとまちづくりの推進、霞4号幹線の南への延伸等を盛り込んだ「港湾計画」を策定します。



## 健康・生活・ スポーツ・文化

多くの市民が健康に対する意識を向上させ、生涯現役で幸せを感じながら生きていくことのできる環境を整備します。心豊かな社会の実現を目指し、市民の皆さんが運動に取り組み、文化や芸術に触れる機会が溢れるまちを目指します。

### ■介護予防、認知症対策の強化

介護予防等拠点施設「ステップ四日市」を拠点として、全市的にフレイル対策、認知症対策等を展開し、健康都市の実現、健康寿命の延伸を図ります。

### ■こどもみらいクーポン事業を実施

小中学生に対し、文化芸術鑑賞、スポーツ観戦、ワークショップ体験等に利用できる「こどもみらいクーポン」を配布。全ての子どもたちが、生の文化芸術、スポーツに触れる機会を作ります。

### ■体育館・武道館への空調整備

厳しくなる夏の猛暑等に対応する為、あさけプラザ体育館、三滝武道館等への空調整備を行い、年間を通じて快適にスポーツに取り組める環境を整備します。



## 地域力の向上・ 防災減災

地域力の向上が四日市全体の力の源泉です。引き続き、地域の声に耳を傾け、それぞれの地域の活性化に力を注いでいきます。また、近年激甚化する自然災害に備える防災減災対策を一層推進します。

### ■公共交通の新しい形を創出

コミュニティターミナルの整備、交通空白地域でのデマンド交通の導入等、地域の特性に応じた公共交通の形を検討、実践し、交通弱者の移動を支援します。

### ■団地再生の取り組みを推進

郊外住宅団地の活性化に向け、民間開発等を活用し子育て世代の入居を促進するなど、団地再生を引き続き実施していきます。

### ■石原・塩浜地区海岸保全施設整備の推進

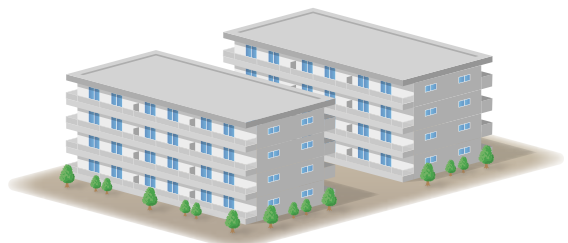
市民の生命・財産、産業を守るため、国直轄事業として採択された「石原・塩浜地区海岸保全施設整備事業」の早期整備に向け、国へ働きかけを精力的に行います。

### ■避難所の環境向上

災害時の避難所に指定されている公立小中学校の体育館・武道場等への空調整備を行い、避難所の環境向上を図ります。

### ■市内全地区に足を運び 現場の声を拾い上げます

全地区を回る「地域づくり懇談会」等を継続し、積極的に地域に足を運び現場の生の声を拾い上げ、地域課題の共有・解決に取り組んでいきます。





## シティプロモーション

東海エリアの西の中核都市として、大きな存在感・求心力を発揮していくため、多くの人々を魅了する取り組みを展開していきます。また、シティプロモーションを活用した財源確保にも取り組みます。

### ■ご当地グルメでまちおこしの祭典「B-1グランプリ」全国大会の誘致

大盛況であった令和5年に開催した「東海・北陸 B-1グランプリin四日市」。市制130周年となる令和9年度の全国大会開催を目指し、誘致活動を行います。

### ■民間との連携による大型イベント開催

民間のアイデア、企画力、運営力を活用し、広域からの集客を図れる、中央緑地全体等を活用した大型イベント開催に向けて取り組みます。

### ■ネーミングライツ、広告等による新たな財源確保

公共施設へのネーミングライツの導入、広告掲載等の手法を用いて、新たな財源確保を図ります。

### ■ふるさと納税による財源流出の縮小

令和5年度に10年続いた収支赤字の拡大が止まった「ふるさと納税」。更なる寄付金獲得に向けて、引き続き、返礼品の新規開拓・魅力向上等を図っています。



## 環境

本市は、令和5年2月に『四日市市ゼロカーボンシティ宣言』を行い、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて本格的に動き出しました。環境都市四日市として、産業界と連携を図り、脱炭素の先進的な取り組みを進めていきます。

### ■コンビナートのカーボンニュートラル化を推進

「四日市コンビナートカーボンニュートラル化推進委員会」での議論を深め、企業の新たな取り組みに対し、支援を行い、事業化を推し進めます。

### ■地域新電力会社を活用し、再生可能エネルギーの普及

令和6年度に設立される「四日市市地域新電力会社」を活用し、公共のみならず対象を民間へも広げ、本市における再生可能エネルギーの普及、活用に取り組みます。



## 市役所改革

四日市市の更なる発展を実現するには、市役所の組織強化、優秀な人材確保が不可欠です。引き続き、市役所改革、風通しが良い魅力ある職場づくりに取り組んでいきます。

### ■行政DX、デジタル化の推進

マイナンバーカードを用いた「書かない窓口」、オンライン申請拡充による「行かない窓口」を促進します。生成AIの積極的な活用により、業務負担を軽減します。

### ■各部署の朝礼回りを継続

風通しが良く、心をつなげたチーム市役所で各種課題に取り組みます。引き続き、各部署の朝礼を回り、市長と職員の距離を縮め、自らの想いを職員と共有します。

### ■魅力ある職場づくりを進め、選ばれる市役所に

育児休業の取得促進、業務の効率化による時間外勤務の削減等のワーク・ライフ・バランスの充実及び、職場の環境向上に取り組み、魅力ある職場づくりを進めます。

## 政策集

## 森ともひろ後援会

〒510-0891 三重県四日市市日永西2丁目21-15  
E-Mail genki@mori-tomohiro.net

●ホームページ <http://www.mori-tomohiro.net>

森ともひろ

検索



## プロフィール

### 森 智広

昭和53年5月27日生(46歳)  
妻・長男・次男・三男

#### ■学歴

西陵中学校／四日市南高校 卒業  
立命館大学理工学部 卒業  
早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

#### ■職歴

四日市市長  
四日市市議会議員(2期)  
公認会計士・税理士